新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

■2面　女性ニュース　■3面　読者／まんが／乱楽パズル　■4・5面　特集　わたしの選択／女性　働く／ホットライン　■6面　食事情／私のまちですすむ大軍拡／時事クローズアップ　■7面　新婦人の活動／談話／母の歴史

大阪・柏原市　神野妙子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです。あなたも一緒に

The personal is political

個人的なことは政治的なこと

参議院選挙 7月20日投開票

わたしの選択

３人の女性弁護士が呼びかけ取り組まれた「参政党神谷代表発言に抗議する緊急アクション」に、新婦人を含め150人が集まった（横浜市＝７月６日）

いよいよ参議院選挙は最終盤！　個人的なことは政治的なこと――毎号の選挙特集のラストは「わたしの選択」です。日本の岐路となる今度の選挙、「わたしの選択」で希望に変えましょう！〈関連２、４、５、７面〉

ジェンダー

参政党にNO！女の価値を産む産まないで決めるな

弁護士　武井由起子

参政党の神谷代表の、「今までの男女共同参画は間違えていた」「高齢者に、すぎる、声をあげたいと盛り上がり、神奈川県横浜市のJR桜木町駅前にびっくりするほど大勢の人が駆けつけました（**写真上**）。

女性は子どもを産めない、若い女性に子どもを産んで家庭に入ってもらうために月10万円を渡す」というあり得ない発言に、SNS上で、おかしい、

スピーチは、さまざまな事情で子どもを諦めた、あるいは子どものない人生を選択したと、根強い「女性の役割としての出産」を押しつけられた心の叫び、産婦人科医や助産師による「産む産まないの選択が自由にできなければならない」という専門知、女性差別撤廃条約NGO代表からの〝専業主婦へ誘導しても少子化はおさまらない〟という知見に目を見開かされました。

参政党がめざしていることは、生殖の権利の対極にある生殖の国家管理で、これはこの政党の持つ好戦的な価値観と両輪の関係にあります。

〈2面へ〉

消費税

消費税一律5%へ　税金はもうかっているところから

大阪府　生花店経営　濱野里緒

政府は、「消費税は預かり金だから払え」と言いますが、商売をまったく理解していない人の考え方です。とくに今、お花は気候変動や円安の影響を受け、価格が上昇。販売に必要な資材や配送料、鮮度保持のための光熱費など、その全てが値上がりしています。お客さまのことを考えると、その負担を商品価格に転嫁することはとてもできません。

消費税を払うために借金をする商売仲間もいます。政府は、消費税で社会保障を賄うと言いますが、商売人をこんなに苦しめているものが社会保障の財源なんておかしい。

消費税が10%になったとき、商売を続けるか悩みました。インボイス制度はそんな事業者を更に苦しめ、持続可能な制度とは思えない。食料品ゼロや期限付き減税では意味がない。インボイス廃止、一律5%減税へ。税は大もうけをしている大企業からとってください。

OTC類似薬

欠かせない湿布薬　痛みに耐えろというのか

千葉県　内田ふみ（91＝仮名）

年金一人暮らし、つえをつきながら生活しています。膝が悪く、痛みがでる季節は毎日、左右の膝に1枚ずつ湿布薬を貼ることが欠かせません。

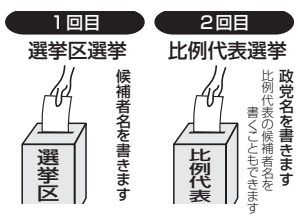
病院で処方されれば1枚7円程です。薬局で買うと、1袋（7枚入り）で小型1280円、大型は1980円、1カ月でゆうに1万円を超えます。月7万円の年金収入で、そんな高い湿布薬は買えません。

痛くてもがまんしろ、長生きするな！ということなのでしょうか。冷たい政治を変えるために、必ず投票へ行きます。

OTC類似薬とは、ドラッグストアなどで売られている市販品（OTC医薬品）と同じ有効成分や効果を持つ処方薬（湿布薬、かぜ薬、保湿剤、痛み止め、便秘薬など）のこと。

8月16日号は休刊です

参議院選挙は２回投票します
期日前投票もできます



発行所　新日本婦人の会　New Japan Women's Association　〒112-0002 東京都文京区小石川5-10-20 電話03(3814)9141(代)
編集部 03(5805)2370/Fax 03(5805)2372 振替00150-7-74582
https://www.shinfujin.gr.jp ©新日本婦人の会2025年
1部105円　月410円（いずれも税込み、送料別）、会員は会費に含む

入会はこちら